

2021年 里山づくり隊だより 3月号

里山づくり隊は■里山景観の整備■希少植物の花育て■オオムラサキの飼育など
甘樫の丘の景観保全とそこに生物多様性を生み出すボランティア活動に取り組んでいます

桜満開の甘樫展望台、今年もたくさんのお客さんにぎわいました



例年よりかなり早く満開となった甘樫展望台の桜。この季節は、この場所が一年で最もにぎわう時期といってもいいでしょう。昨年に続き今年も続くコロナ禍の中にあつて、ソーシャルディスタンスをとりながら青空に映える桜と大和三山を一望する飛鳥、藤原の景観を楽しむ多くのお客さんの姿が見られました。

桜の季節が終わると、私たちが日頃世話をしている木々や草花は新緑や芽吹きの子節となり、オオムラサキは羽化に向けて成長していきます。春から初夏の甘樫にも是非お出で下さい。

さて今年の炭焼きの結果は？ 今年度最終の活動で窯開けをしました

三月の定例活動は第1週火曜が雨天中止となったため、第3週の16日のみとなりました。この日は今年度最終の活動日でもあり、二月に実施した炭焼きの窯開け作業を行いました。

窯の口を開けて内部の様子を確認、数本をサンプルとして取り出しました。すべての炭の窯出しは後日(計画未定)改めて実施することになっています。



窯開けのあと、環境美化グループは今後の作業に向けた管理エリアの巡回、花づくりグループは植栽地の整備、オオムラサキグループはエノキの種のポットへの植え付け作業を行い、今年度の活動を終わりました。



クラブ員の皆さんへ…新年度の活動が始まります。第1・第3火曜、甘樫の里山づくりに集いましょう!